

デジタルスキル標準（DSS）FAQ

○皆様から多く寄せられるお問い合わせについて、FAQ形式でご案内しています。
お問い合わせの前に、IPA ウェブサイトに掲載の内容と併せてご活用ください。

令和8年2月

独立行政法人情報処理推進機構 デジタル人材センター

人材プロモーションサービス部 スキルトランスフォーメーショングループ

Q1：デジタルスキル標準（DSS）とITスキル標準（ITSS）・ITSS+・情報システムユーザースキル標準（UISS）の違いは何ですか？

A1：DSSは、全てのビジネスパーソンを対象とした「DXリテラシー標準（DSS-L）」と、DXを推進する人材を対象とした「DX推進スキル標準（DSS-P）」で構成されており、IT技術者だけでなく非IT職も対象です。

一方、ITSSはIT技術者育成の指標、ITSS+はIT技術者のリスキリング、UISSはユーザー企業における情報システム担当者育成の標準です。

Q2：DSSは最新のデジタル環境に基づく標準で、ITSS群は古い概念という理解でよいですか？

A2：DSSはDX推進を念頭に置いて策定された最新の標準であり、ITSS群はIT技術者育成の歴史ある標準です。

新旧の差だけでなく、目的や対象の違いを踏まえてご活用ください。

Q3：DSSとITSS群では、スキルレベルの評価方法にどのような違いがありますか？

A3：ITSS群はレベル1～7など詳細な段階評価を設けています。

DSS-PはITSS+レベル4相当のスキル水準を想定していますが、独自の詳細なレベル評価指標は用意していません。

Q4：DSS-Pの各スキル項目における到達目安（達成基準）の一覧はありますか？

A4：現状、DSS-Pには業種・職種を問わず汎用的に適用できるよう、統一的な達成基準一覧は設けておりません。

各スキル項目には「学習項目例」を提示していますので、貴社の事業特性や育成方針に合わせ、必要な項目を選定のうえ、独自の評価指標を策定されることをおすすめします。

Q5：DSS は ITSS+のレベル 4 に相当すると伺いましたが、具体的な対応関係を教えてください。

A5：DSS-P は、ITSS+のレベル 4（独力遂行かつ後進育成が可能なレベル）とほぼ同等のスキル水準を想定しています。
ただし、両者は別体系の標準であり、項目同士が一对一で対応するものではありません。
レベル感の目安としてご理解ください。

Q6：IT パスポート試験や基本情報技術者試験の過去問を、DSS-P の各スキル項目に紐づけてスキル評価に活用したいのですが可能でしょうか？

A6：試験区分ごとのおおまかな対応関係は公表していますが、個別の問題と DSS-P 項目との詳細なマッピングは提供していません。
詳細は各ロールのページをご確認ください。

例) ビジネスアーキテクト（新規事業開発）

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/skill-standard/dss/businessarchitect/business-architect-startup.html>

Q7-1：IT パスポート試験合格者は、DSS-L を満たした人材と言えますか？

A7-1：IT パスポート試験は DX リテラシーの基礎知識習得に有効ですが、合格のみで DSS-L の全要件を網羅したとは断言できません。
実務経験や継続的な学習も併せて重視してください。

Q7-2：情報セキュリティマネジメント試験についても同様でしょうか？

A7-2：はい。

情報セキュリティマネジメント試験も、IT パスポート試験同様、DSS-L の基礎習得に資する試験ではありますが、合格だけで標準全体を満たすわけではありません。

Q8：DSS-L と ITSS の関係性を教えてください。

A8：DSS-L は、全てのビジネスパーソンを対象に DX 推進に必要な知識・スキル・マインドを体系化したもので、構成要素は「Why」「What」「How」「マインド・スタンス」です。

一方、ITSS は IT 専門職向けの職種別・専門分野別スキル標準であり、対象とする領域が異なります。

Q9：DSS-L の「What」「How」に含まれる「データ・デジタル技術の理解・活用能力」を、自社の制度において「IT リテラシー」と定義しても問題ありませんか？

A9：データやデジタル技術に関する理解・活用は DX リテラシーの重要要素です。貴社の制度目的に照らし合わせて適切であれば、問題なくご活用いただけます。

Q10：DSS の導入事例はありますか？

A10：DSS 活用事例集を公開しています。以下 URL よりご参照ください。

- ・ デジタルスキル標準（DSS）活用事例集、リンク集

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/skill-standard/dss/case.html>

Q11：DSS に基づく効果測定用フォーマット（チェックシート等）はありますか？

A11：当機構ではご用意していませんが、DSS をベースにしたツールを公開している民間企業もあるようです。

また、IPA 運営の「マナビ DX」ポータルサイトでは、DSS に準拠した講座情報をご覧ください。

- ・ マナビ DX

<https://manabi-dx.ipa.go.jp/>

Q12：経済産業省の「第四次産業革命スキル習得講座」認定申請に際し、当社オンライン講座がDSS-Pのどのロールに該当するかを教えてくださいませんか？

A12：認定申請に関する具体的なお質問は、経済産業省の窓口へお問い合わせください。

- ・問い合わせ先：「第四次産業革命スキル習得講座認定申請受付担当」
- ・メール：bzl-reskill-shinsei-uketsuke@meti.go.jp
- ・URL：
<https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/reskillprograms/index.html>